

# 鬼の舌震・吾妻山モデルコース全体図

地図1



- 1 清嵐荘(せいらんそう)**  
 「出雲國風土記」に「漆仁の湯」と記された山峡の温泉地。出雲湯村温泉。その一角に野趣あふれる露天風呂をかまえたかけ流し温泉宿。
- 2 阿井川ダム**  
 周囲約3.3km。鯉、フナなどの釣り場としても知られ、ピクニックにも格好のスポット。
- 3 善勝寺**  
 天正4年(1576)須我比山城主斎藤氏の菩提寺として建立。幾度かの焼失、再建を繰り返す。昭和60年御堂建立。江戸から明治初期まで松平藩舟方御用寺の格式を保っていた。
- 4 奥出雲サイクリングターミナル**  
 レストランや宿泊設備、特産品コーナーなどが整った施設で、自転車のレンタルもできる。TEL0854-54-2100
- 5 亀嵩駅(かめたけえき)**  
 昭和49年、映画「砂の器」の舞台となり、「亀嵩」の地名が全国に知れるようになった。駅長が打つ出雲そばが人気の観光スポット。
- 6 糸原記念館**  
 鉄師として知られる糸原家に伝承して来た各種資料やたたき原料、用具、生産品などを展示。昭和33年、映画「絶唱」のロケ地として使われた。
- 7 湯の廻のキャラボク**  
 仏山の麓にある県指定天然記念物で、樹齢400年。樹高約8mの県内随一の巨木としても有名。
- 8 金言寺の大イチョウ**  
 樹高33m。幹回り5m70cm。推定樹齢350年。11月初旬の黄葉と、それに続く落葉の風情がみごと。
- 9 龍神木(りゅうじんぼく)**  
 森の中にひっそりと佇む奇樹。杉の大木に巨大なつるが巻き付いて、あたかも龍が登るかのような姿で周囲を圧倒する。

- 駐車場
- トイレ
- 軽食・喫茶
- 宿泊施設
- サイクリングコース
- 身障者対応トイレ
- 軽食・喫茶
- 野営場
- バス停
- オムツ替え
- 温泉
- 城跡
- 案内板
- 指導標
- 国定公園
- 県立自然公園
- 車道区間
- 歩道区間
- その他のトレッキングコース

# 鬼の舌震周遊モデルコース

地図3



**バリアフリー遊歩道**  
 全長2kmのバリアフリー遊歩道。車イスでも奇勝を見ることができる。●地図上では緑の線で表しています

注)ここから下高尾駐車場まで、バリアフリー歩道とモデルコース(赤点線)は同じルートになります。

**鬼の舌震(鬼舌振)**  
 昭和2年に国指定の名勝及び天然記念物となり、昭和39年には県立自然公園に指定された景勝地。巨石の間を流れる溪流は、早瀬や淵が連続し、兩岸には特異な形の岩が散在する。  
 鬼の舌震という呼称の由来は古く、「出雲國風土記」に、「阿伊の里に住む玉日女命という美しい女神を恋慕った日本海の和仁(サメ)が、夜な夜な斐伊川を通い来たが、これを嫌った姫が巨岩で川をせき止め、ワニを拒んだところ、ワニは一層姫を恋慕った」とあり、この「ワニのしたふ(慕う)」が訛ったものと言われている。この地の断崖絶壁に驚いたワニが「舌を震わせた」という異説もある。

- 1 舌震の恋吊橋**  
 「幸せ」を「釣り(吊り)上げる」という意味を持つ、高さ45m、長さ160mの大吊り橋。この橋の上からの景色を楽しむことができる。特に紅葉の景色は格別。
- 2 烏帽子岩**  
 舌むした巨岩でその形から烏帽子岩という。
- 3 雨壺(姫の湯殿)**  
 直径が2m以上ある穴で別名「姫の湯殿」と呼ばれる。
- 4 鬼の落涙岩**  
 顔面のような形で、おう穴による2つの穴が見え、その間を水が流れる様子はまるで「ワニ(鬼)」が涙をこぼすように見える。
- 5 ほど岩**  
 昔、水を入れていた水瓶(飯銅)に似ていることから名付けられた。
- 6 壘岩**  
 大きな平面をもつ岩。
- 7 千畳敷**  
 岩が節理に沿って大きく平らな面を造っているところから命名。
- 8 大天狗岩**  
 高さ80mにもおよぶ断崖絶壁。水量が増したときに虹を含んだ水煙がもうとうと立ち上がる。
- 9 鬼の試刀岩**  
 巨岩がきれいに真っ二つに割れている。鬼が刀の試し切りをした岩と言われている。
- 10 牛の首**  
 大きな牛の首のようにゴーゴーという音とともに水煙を上げて流れる瀧。

